

# 2017年 プログラム近況報告

インドネシア トウナ地域開発プログラム

## ご支援によりトウナ地域の 子どもたちの生活が改善しています

皆さまの継続的なご支援に、心より感謝申し上げます。ご支援により、トウナ地域は子どもたちが成長し、また人々が生活する上で、より良い場所へと変化しつつあります。今年の最大の成果は、より多くの家庭でカカオや有機野菜の菜園を始められるよう支援できたことです。支援を受けた家族は都市に出稼ぎに行く必要がなくなり、子どもたちとより多くの時間を過ごすことができました。

一方、最大の課題は、保健や教育といった子どもたちの基本的な必要を満たすのが難しい家庭がまだあることです。皆さまのご協力により、地域の子どもたちにより良い生活をもたらすための働きをこれからも続けてまいります。



トウナ地域開発プログラム  
マネージャー

クリスチャン・エディ・スセノ



# トウナ地域での主な成果

## 健康状態が改善しました

子どもたちがより栄養のある食事をとっています。有機野菜菜園の生産高が391束から3,734束に増えたことで、生産者の収入が向上し、子どもたちが健康に良いものを食べられるようになりました。また、6つの貯蓄グループの資金が増え、家庭で子どもたちの基本的な食事や医療などの必要が満たせるようになりました。



チャイルドの絵「植林した様子-緑の中で子どもたちが遊べます」（プラシシキ、10歳）

## 教育を受けました

より多くの若者が貯蓄の重要性を学んでいます。学校の課外学習を通じ、105人の子どもたちが貯蓄の大切さと、貯蓄が人生にもたらす良い影響について学びました。また、10の貯蓄グループの活動に494人の生徒が参加し、家族の急な必要に備えて貯蓄を行いました。



チャイルドの絵「村の自然の美しさ」（リスカ、12歳）

## 地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもの権利が以前より尊重されています。子どもの日の行事として開催された子どもの権利に関する講習会に、10人の政府関係者と88人の教師、335人の子どもたちが参加しました。参加者は、すべての村で子どもたちを危険から守るために、それぞれが果たすべき役割と責任について学びました。



チャイルドの絵「緑化のために学校に木を植えている様子」（ジョンディシウス、12歳）

## 価値ある存在として尊重され愛情を受けました

子どもたちがより高い倫理的価値観を養っています。子どもクラブに所属する10村の393人の子どもたちが、健全な人間関係の構築について学ぶ活動に参加しました。

「所属する農民グループで有機栽培の研修を受けることができ、感謝しています。おかげで収入が増え、子どもたちの必要をまかなえるようになりました。」

スピアナさん  
(地域の母親、写真左)

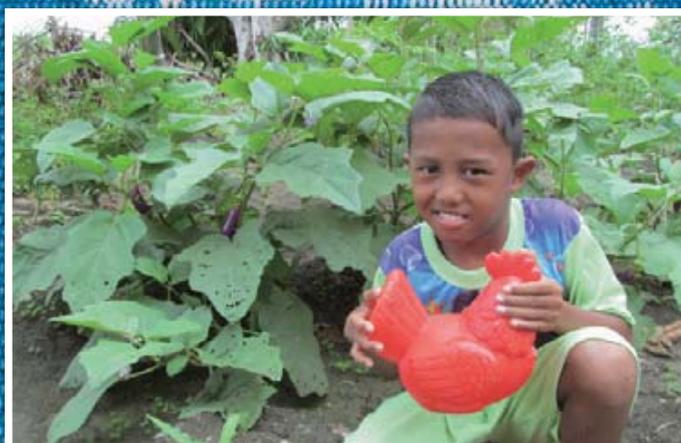


「有機野菜の栽培と家計管理の研修に参加したおかげで、家を建てることができ、子どもの教育のために貯蓄もできるようになりました。」

ニラさん (地域の母親)

「以前の私は恥ずかしがりやでした。でも子どもクラブの活動のおかげで、人の前で自信を持って話せるようになりました。家庭菜園などほかの活動についても学びました。」

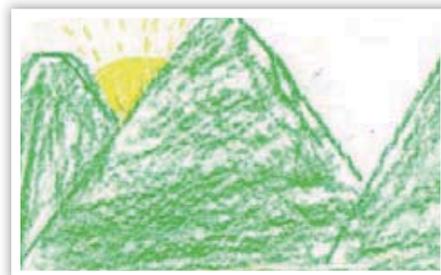
エルシーちゃん (11歳、写真左の水玉のシャツを着た女の子)



「ぼくは貯金について学ぶ集会に参加しました。今は毎日貯金できるので嬉しいです。この貯金が将来の教育費の足しになるといいなと思います。」

ワスディ君 (10歳、自分の貯金箱を持っている子)

# 家族の健康のための レタス栽培



野菜の栽培によって家族の必要をまかなえるようになったと話すマリアムさん（50歳）

「私たちは昔ながらの農家で、有機野菜の商売を始める方法も、共同で市場に参加する方法も知りませんでした」と話すのは、女性の農民グループのメンバー、マリアムさんです。

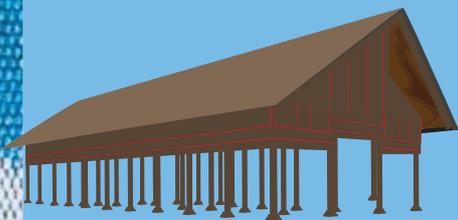
「生産高を増やし、作物の質を上げるために、ワールド・ビジョンが私たち農家に協力してくれました。私たちは家庭菜園やカカオの生産、製品の販売、会計管理について学びました。そして良質の土を買い、夫と一緒に家庭菜園を始めました。

学んだことを活かして、レタスを植えました。収穫したレタスは、村で収穫されたものを都市へ出荷してくれる共同市場で売りました。運搬にかかる費用は、ほかの農家と同時に収穫して販売することにより、共同で負担しました。レタスを販売した利益で土を買う費用を賄うことができました。それだけでなく、子どもたちの健康のために、栄養のある食事を作ってあげられるようになりました。」

お問合せ先 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）  
e-mail：[dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)  
ホームページ：[www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

トウナ地域開発プログラムは、当初2025年に終了の予定でしたが、皆さまのご支援によって予定よりも早く支援から卒業できる目処がたったため、2021年をもって終了することとなりました。

プログラム番号  
IDN-197362



インドネシア トウナ地域開発プログラム (IDN-197362)  
2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	16,494,360
前期からの繰越額	2,078,022
プログラム支援額合計	18,572,382

プログラム支出額	
経済開発プロジェクト	8,825,317
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	6,549,025
プログラム支出額合計	15,374,342
次期繰越額	3,198,040

活動内容

**\$** 経済開発プロジェクト

- ・農業トレーニング
- ・有機野菜栽培支援
- ・マーケットとのネットワーク強化
- ・貯蓄グループの育成・研修

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・「子どもクラブ」の活動